

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査目的

介護保険制度開始年度からの利用者の意識の変化等を過去9回の調査結果と併せて時系列的に把握するとともに、未利用者の意識についても調査し、サービスを受ける側の立場からみた制度の定着状況、課題を把握し、今後の制度運営に活かすことを目的とする。

## 2. 調査内容等

	今回調査	参考								
		平成25年度調査	平成22年度調査	平成18年度調査	平成17年度調査	平成16年度調査	平成15年度調査	平成14年度調査	平成13年度調査	平成12年度調査
期間	平成29年2月	平成26年2月～3月	平成22年12月～23年2月	平成19年2～3月	平成18年2～3月	平成17年2～3月	平成16年2～3月	平成15年3月	平成14年2～3月	平成13年2～3月
調査対象者数	府内9市7町1村及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内10市8町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内8市6町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内7市7町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内5市5町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内5市5町1村及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内2市14町1村及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内1市14町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,000人	府内4市6町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者4,659人	府内3市6町及び京都市内の要介護等認定を受けた在宅高齢者5,365人
調査対象地域	【北部】 舞鶴市 宮津市 伊根町 与謝野町 京丹後市	【北部】 福知山市 舞鶴市 宮津市 伊根町 与謝野町 京丹後市	【北部】 舞鶴市 宮津市 伊根町 与謝野町 京丹後市	【北部】 綾部市 舞鶴市 宮津市 伊根町 与謝野町	【北部】 宮津市 綾部市 伊根町 加悦町	【北部】 舞鶴市 宮津市 京丹後市 岩滝町 夜久野町	【北部】 舞鶴市 加悦町 伊根町 弥栄町 三和町	【北部】 綾部市 大江町 野田川町 大宮町	【北部】 福知山市 宮津市 久美浜町	【北部】 舞鶴市 岩滝町 網野町
	【中部】 亀岡市 南丹市	【中部】 亀岡市 南丹市 京丹波町	【中部】 亀岡市 南丹市	【中部】 亀岡市 南丹市	【中部】 亀岡市	【中部】 亀岡市	【中部】 京北町 美山町 八木町 丹波町 日吉町	【中部】 京北町 美山町 園部町 八木町 丹波町 日吉町	【中部】 美山町 園部町 八木町 丹波町	【中部】 亀岡市 京北町 日吉町
	【南部】 大山崎町 宇治市 城陽市 京田辺市 井手町 宇治田原町 木津川市 笠置町 精華町 南山城村	【南部】 宇治市 城陽市 京田辺市 井手町 宇治田原町 木津川市 笠置町 和束町 精華町	【南部】 宇治市 京田辺市 木津川市 井手町 宇治田原町 笠置町 和束町	【南部】 向日市 八幡市 井手町 山城町 加茂町 笠置町 和束町	【南部】 向日市 八幡市 山城町 笠置町 和束町	【南部】 向日市 井手町 加茂町 和束町 南山城村	【南部】 向日市 大山崎町 井手町 山城町 木津町 笠置町 南山城村	【南部】 大山崎町 久御山町 宇治田原町 木津町 和束町	【南部】 向日市 京田辺市 山城町	【南部】 城陽市 井手町 加茂町
方法	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収

※調査対象者については、府域を「北部」、「中部」、「南部」、「京都市」の4区域に分け、それぞれの地域において市町村の協力を得て、要介護度別の分布状況等に配慮の上、選定した。

なお、市町村名は調査実施当時のものによる。

### 3. 主な調査項目

#### (1) 回答者の状況

- アンケート記入者、年齢、性別、家族構成、要介護度、居住市町村

#### (2) 要介護認定に対する満足度について

- 要介護（要支援）認定結果についての満足度
- 要介護（要支援）認定結果に不満足な理由

#### (3) ケアプランについて

- ケアプランへの本人や家族の意見や要望の反映
- 意見や要望が反映されていない点

#### (4) 介護サービスの利用状況について

- 介護サービスの利用状況
- 介護サービスを利用していない理由

#### (5) 介護サービスの内容について

- 介護サービスの満足度
- 介護サービスの内容に不満足な理由
- 在宅サービスの充実のために必要なこと
- 家族介護者支援に必要なこと

#### (6) 介護保険料・サービス利用料等の負担感について

- 介護保険料の負担感
- 介護サービス利用料の自己負担割合
- 介護サービス利用料の負担感

#### (7) 今後の制度のあり方について

- 負担（介護保険料）と給付（介護サービス）についての考え
- 介護保険制度における負担と給付の将来的なあり方

#### (8) 今後の生活について

- 今後、どこで生活していきたいか
- 自宅、ケアハウス、施設で生活したい理由

#### (9) 介護予防や生活支援について

- 介護度が悪化しないように取り組んでいること
- 介護度が悪化しないように今後やってみたいこと
- 日常的に受けたい支援

(10) 地域包括ケアシステム等の認知度について

- 地域包括ケアシステムの認知度
- 地域包括支援センターの認知度
- 在宅療養あんしん病院登録システムの認知度
- かかりつけの医師・歯科医師・薬局の有無

(11) 認知症対策について

- 認知症の理解度
- 認知症に対する周囲の理解度
- 認知症への不安を相談する相手
- 認知症の早期発見や対応に必要なこと

(12) リハビリテーションについて

- リハビリテーションの利用状況
- リハビリテーションの効果

(13) 看取りについて

- 将来に対する家族等との話し合いについて
- 自分で判断できなくなった場合の治療に対する要望の書面作成について
- 実際に書面を作成しているか

#### 4. 配布・回収状況

	今回調査	参考								
		平成25年度調査	平成22年度調査	平成18年度調査	平成17年度調査	平成16年度調査	平成15年度調査	平成14年度調査	平成13年度調査	平成12年度調査
配布数	5,000件	5,000件	5,000件	5,000件	5,000件	5,000件	5,000件	5,000件	4,959件	5,363件
回収数	2,009件	2,065件	2,368件	1,776件	2,112件	2,151件	2,325件	2,290件	2,405件	2,866件
回収率	40.2%	41.3%	47.4%	35.5%	42.2%	43.0%	46.5%	45.8%	48.5%	53.4%

#### 5. 数値等の取り扱いについて

本報告書では、数値等を以下のように取り扱っている。

- ① アンケートへの回答は、「単一回答（1つだけ選択する回答）」と「複数回答（当てはまる項目全てを選択する回答や、当てはまる項目を3つまで選択する回答）」があり、当てはまる項目全てを選択する設問は「（複数回答）」、3つまで回答可能な設問は「（3項目選択）」と表記している。
- ② 調査結果の数値は、原則としてパーセント（%）で表記しており、%値の母数は、その設問項目の該当標本数（回答すべき人の数）であり、「総計」または、「回答者数」と表記している。
- ③ %値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。  
したがって、単一回答の各選択肢の合計が必ずしも100%とならない場合がある。  
同様に、複数の選択肢をあわせた場合や小計などでは、内訳の%値を単純加算した数値とは異なる場合がある。
- ④ 図表では、選択肢の言葉や文章を省略形にしている場合がある。